

HIT Spring NEWS



写真1 World Automation Congress 学会受付

No. **237** 2010.12

兵庫県立大学/姫路工業大学

University of Hyogo / Himeji Institute of Technology

目次

国際会議 World Automation Congress (WAC)2010 開催報告...	1
イノベーションジャパン2010出展報告...	3
畑豊教授が国際会議WACにて「Distinguished Contribution Award」受賞...	4
小橋昌司准教授がWACにて「Outstanding Contribution Award」受賞...	5
工学研究科峯本俊文君が日本知能情報フェジ学会奨励賞受賞...	5
工学研究科大学院生がWAC2010でBest Paper 2nd Place Award受賞...	6

国際会議 World Automation Congress (WAC)2010 開催報告

畑 豊・倉本 圭・小橋昌司

1. はじめに

国際会議 World Automation Congress (WAC) が平成22年9月19日(日)から22日(水)の4日間、兵庫県神戸市の神戸国際会議場にて開催されました。今回、National Organizing Committeeを務めさせて頂いたので、その内容について報告させていただきます。

2. 国際会議概要

本会議は1994年より2年に一度開催され、今回で第9回になります。本会議はGeneral ChairにMo Jamshidi教授(The University of Texas at San Antonio, USA)を迎え、Automationをキーワードに次の5トラックで構成されました。

- 12th International Symposium on Robotics and Applications (ISORA) Chair: 木口量夫教授(佐賀大学)
- 8th International Symposium on Intelligent Automation and Control (ISIAC) Chair: Gary Parker教授(Connecticut College, USA)

- 12th International Symposium on Manufacturing and Applications (ISOMA) Chair: Bernadetta Kwintiana Ane教授 (Universitat Stuttgart, Germany)
- 7th International Symposium on Soft Computing for Industry (ISSCI) Chair: Diego Andina教授 (Universidad Politecnica de Madrid, Spain)
- 7th International Forum on Multimedia and Image Processing (IFMIP) Chair 畑 豊

同会議には400件以上の論文投稿があり、各論文2、3名、述べ2000人以上の査読者による査読の結果、297件の口頭講演論文が採択されました。会議では9つのパラレルセッション、特別講演が行われました。21カ国からの300名以上の方々にご出席いただきました。写真1は受付の風景です。多くの学生に手伝っていただきました。国際会議の受付を体験することは非常に良い経験になったと思います。

3. 特別講演

工学分野、医学分野、生命科学分野など幅広い分野より、非常に著名な方々に特別講演を頂きました。

* Honoree Lecture 山川 烈教授（九州工業大学）

* Honoree Lecture 福田敏男教授（名古屋大学）

* Lifetime Lecture 大見忠弘教授（東北大学）

* Lifetime Lecture Diego Andina 教授
(Technical University of Madrid, Spain)

* Lifetime Lecture Yannis Phillis 教授
(Technical University of Crete, Greece)

* Keynote Lecture 柳田敏雄教授（大阪大学）

* Keynote Lecture Robert Gracy 教授, Mo Jamshidi 教授 (The University Texas, San Antonio, USA)

* Keynote Lecture Saeid Nahavandi 教授
(Deakin University, Australia)

* Luncheon Keynote Lecture Allan Ritchie
博士, Vice-president (Johnson & Johnson, Japan)



写真2 福田敏男教授の特別講演



写真3 特別講演での質疑応答（柳田敏雄教授）

写真2は福田先生の講演、写真3は同講演に対する柳田先生の質問風景です。異なる分野からの大局的な質疑応答が行われ、聴講者の方々にも大いに参考になったかと思います。

4. その他

ソーシャルイベントとして、会場にて Welcome Reception（写真4）を、神戸花鳥園にて Banquet（写真5）を催しました。Banquet 開始まで約1時間、同園内を散策いただき、色とりどりの花と鳥で会議により疲れた体と頭をリフレッシュいただけたかと思います。Banquet では、award ceremony も行われました。さらに、山川烈教授ご夫妻の琴、尺八の演奏は、特に海外参加者にとって日本文化の理解に大いに寄与できたかと思います。



写真4 Welcome Reception

（左：畑 豊、右：Mo Jamshidi 教授）

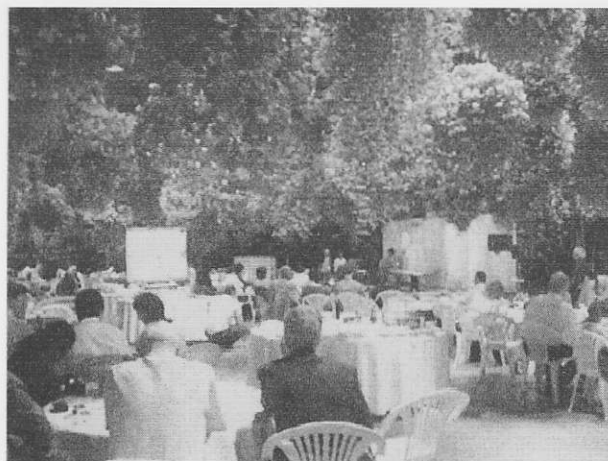


写真5 Banquet 会場

5. おわりに

最後になりますが、本会議には、JST ERATO 前中センシング融合プロジェクトのテクニカルサポー

トによる特別セッションをはじめ、多くの本学の教員、大学院生の方々にご出席、ご発表いただきました。この場をお借りして深く感謝いたします。また今回はメキシコ プエルト バリャルタにて、2012年6月24日から28日の予定で開催され、小橋昌司が

IFMIP トラックの chair を務めさせていただきましたので、奮ってご投稿のほどよろしくお願ひします。詳細については、Web ページ(<http://wacong.org/>)にて順次公開されます。

(はた ゆたか くらもと けい こばし しょうじ)

イノベーションジャパン2010出展報告

産学連携センター 松井 康明

国内大学の最先端技術シーズと産業界のマッチングイベントとして「イノベーションジャパン2010」が9月29日(水)から10月1日(金)の三日間、東京有楽町の東京国際フォーラムで行なわれました。イノベーションジャパンは主催がJST〔(独)科学技術振興機構〕とNEDO〔(独)新エネルギー産業技術総合開発機構〕、共催が文部科学省、経済産業省、内閣府、による国内最大の大学見本市です。

今年で7回目を迎え、兵庫県立大学は4回から参加しています。今回は全国150の大学の391の研究がブース展示と新技術説明会(プレゼンテーション)によって紹介されました。他に80余りの研究機関・企業の研究紹介や、同時進行で三日間に67件の産業界からのプレゼンテーションがおこなわれました。

本学からは、〔ものづくり部門〕に工学研究科の木村真晃准教授の「低入熱摩擦接合技術の開発と提案」(展示)と高度産業科学技術研究所の服部正教授の「位相イメージングに向けた高アスペクト比X線格子の作製」(展示・プレゼン/野田大二助教、大学院生・徳岡篤君、〔ナノテクノロジー部門〕に工学研究科の川月喜弘教授の「分子配向した光配向膜」(プレゼン)と高度産業科学技術研究所の原田哲男助教の「コヒーレント光を用いたナノ構造パタン評価」(展示・プレゼン)、高度産業科学技術研究所の神田一浩教授の「室温ナノインプリント技術」(展示・プレゼン/大学院生・姜有志君)、〔材料部門〕に工学研究科の生津資大准教授の「薄膜の機械物性計測のための新技術」(展示・プレゼン)と6名の先生の展示・発表がありました。

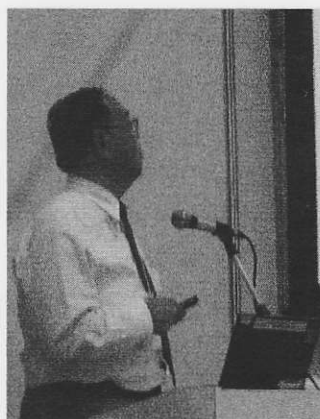
地下二階フロア(5000㎡)にくまなく広がるブースに各大学が工夫を凝らした展示と説明を行う様子は熱気にあふれていました。この会場を大学や研究

機関そして企業の研究者が、三日間で1万7千人余り(主催者の発表による)訪問しました。出展いただいた先生方や応援に来ていただいた大学院の学生さんも三日間ほぼ立ち通して説明・対応いただきありがとうございました。兵庫県立大学とその研究成果をおおいにアピールできたと思っています。

(まつい やすあき)



展示会場/生津准教授



プレゼンテーション
/神田准教授

今回、イノベーション・ジャパン2010に参加し、「薄膜の機械物性評価の新技術」とのタイトルで発表しました。この会合に来られた企業・研究所の方は、皆、何らかのニーズを持っており、ブースでの議論は専門的かつ建設的なものでした。

会合をきっかけとして、現在、次年度からの共同研究に向けて打ち合わせ中の企業が数社あり、イノベーション・ジャパンが大学シーズと企業ニーズのマッチングに有効であることを再認識できました。

イノベーション・ジャパンでは「室温ナノインプリント」をテーマ

にブースにおける展示と新技術説明会での発表を行いました。新技術説明会では予想以上の観客の参加をいただき、発表終了後に開催されるマッチングコーナーとブースの方にも多くの問い合わせがあり、具



ポスター展示会場の様子

体的な技術相談を行いたいという申し込みを複数の企業から寄せていただきました。会場は熱気に包まれており、多くの企業が積極的なシーズ探索に本会を利用していることが実感されました。



展示会場／野田助教・服部教授・徳岡君

工学研究科電気系工学専攻 電子情報工学部門畑豊教授が 国際会議 WAC にて

「Distinguished Contribution Award」受賞

大学院工学研究科電気系工学専攻 倉 本 圭

この度、大学院工学研究科電気系工学専攻電子情報工学部門の畑豊教授が、国際会議 World Automation Congress (WAC) にて、Distinguished Contribution Award を受賞しました。本賞は、国際会議WACにおいて、顕著な功績を示された方に授与されます。

畑教授は、隔年開催される WAC を構成する5トラックの1つである International Forum on Multimedia and Image Processing (IFMIP) の chair を、2000年 (ハワイ・アメリカ)、2002年 (フロリダ・アメリカ)、2004年 (セビリア・スペイン)、2006年 (ブダペスト・ハンガリー)、2008年 (ハワイ・アメリカ)、2010年 (神戸・日本) と6回務められると共に、2010年の国際会議WACの開催担当である National Organizing Committee Chair を務められました。

さらに、同会議に関連して TIS Press より医療・画像処理に関する国際論文誌 International Journal of Intelligent Computing in Medical Sciences and Image Processing (IC-MED、<http://wacong.org/icmed/>) を発刊し、現在

Founding editor-in-chief (初代編集長) を務められています。それらの功績が認められ、今回国際会議 WAC にて、同賞が授与されました。

先生の今回のご受賞に深い敬意と、心からの御祝意を表したいと思います。これからも幅広く精力的な研究活動を祈願すると共に、ご指導、ご鞭撻を賜りたいと思います。

(くらもと けい)



工学研究科電気系工学専攻 電子情報工学部門 小橋昌司准教授が
国際会議 WAC にて

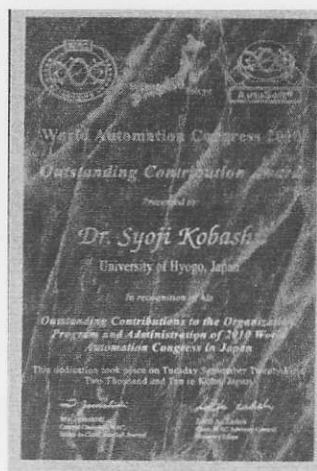
「Outstanding Contribution Award」受賞

大学院工学研究科電気系工学専攻 前 中 一 介

この度、大学院工学研究科電気系工学専攻電子情報工学部門の小橋昌司准教授が、国際会議 World Automation Congress (WAC) にて、Outstanding Contribution Award 受賞しました。本賞は、国際会議 WAC の開催において、顕著な功績を示された方に授与されます。

小橋准教授は、2010年の国際会議 WAC の開催担当である National Organizing Committee Co-Chair を務められ、4 日間の会期において297 の口頭発表、9つのパラレルセッション、9件の特別講演、Welcome Reception、Banquet からの会議プログラムを編成されました。さらに、WAC を構成する5トラックの1つである International Forum on Multimedia and Image Processing (IFMIP) の Co-chair を務められ、15件の特別セッションを組織されると共に、22件の講演で構成され

る特別セッション "Human health and medical science" を企画しました。これらの功績が認められ、今回同賞が受賞されました。



先生の今回のご受賞に深い敬意と、心からの御祝意を表したいと思います。また、2012年の6月24日から28日の予定で、メキシコ プエルト バリャルタ にて開催予定 WAC 2012において、IFMIP の Chair を務められます。今後のさらなる発展を期待します。
(まえなか かずすけ)

工学研究科電気系工学専攻電子情報工学部門 峯本 俊文君が
日本知能情報ファジイ学会奨励賞 受賞

工学研究科電気系工学専攻 松 井 伸 之

大学院工学研究科電気系工学専攻博士前期課程2年 峯本 俊文君が、日本知能情報ファジイ学会奨励賞を受賞しました。

受賞対象となった発表論文は「共焦点レーザ顕微鏡画像を基にした神経細胞形態再構成システムの開発」です。この研究は、2009年度の第25回ファジイシステムシンポジウム（筑波大学筑波キャンパスにてH21.7/14~16開催）において研究発表したものです。日本知能情報ファジイ学会ではこの1年間の学会イベント活動の中から、2010年度の学会賞を選んでいきます。学会賞の目的は、学会の発展に関する貢献、あるいは知能・情報・ファジイの理論・応用及び知能・情報・ファジイ関連の理論・応用分野において、学問的及び技術的に貢献するところが大

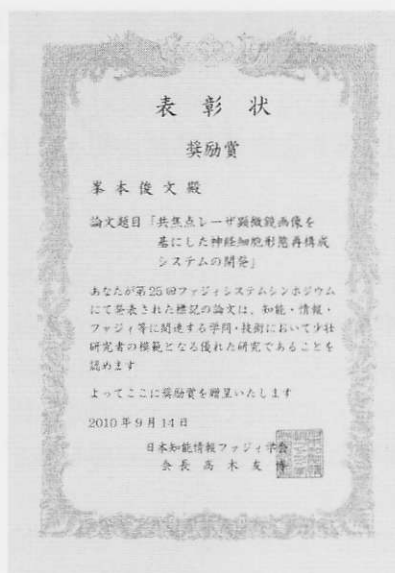
きいと認められる業績を表彰し、学会及び学術の発展をはかることにあります。2010年度の受賞内訳は1. 功績賞：1名、2. 業績賞：該当者なし、3. 論文賞：2件、4. 著述賞：1件、5. 奨励賞：3名、6. 貢献賞：1件となっています。奨励賞には3件の研究論文が選ばれましたが、峯本君の受賞対象研究はこれまでの卒業研究の成果を発展させそれをまとめた修士1年生時のものでまことに喜ばしい限りです。他の2件の奨励賞には北海道大学と筑波大学の大学院生（発表当時）が選ばれています。

受賞の報は2010年9月6日にもたらされ、表彰式は2010年9月14日に広島大学で開催の第26回ファジイシステムシンポジウムにおいて執り行なわれました。1年間余りの厳密な審査を経てのこのたびの受



賞は、峯本君の研究が、この研究分野においていかに高く評価されたかよく分かり、喜ばしい限りです。

なお、本研究室から学会受賞の栄誉に輝いた修士学生は最近6年間でこれで6名になりました。この



た、関係各位に御礼申し上げます。

(まつい のぶゆき)

工学研究科電気系工学専攻 電子情報工学部門 大学院生武田隆宏君らが WAC2010にて Best Paper 2nd Place Award 受賞

工学研究科電気系工学専攻 小 橋 昌 司

博士前期課程2年の武田隆宏君らが、国際会議 World Automation Congress (WAC) にて、Best Paper 2nd Place Award in IFMIPを受賞しました。本国際会議では400件以上の論文投稿から、厳正な査読により297件の論文が採択されました。内34件が Paper Award 候補に推薦され、発表時に(1)研究の先端性、(2)数学的/技術的基礎、(3)新規性、(4)モデル化・シミュレーション・結果の解析、(5)発表技術の各項目について、0-5段階で評価され、本論文が選ばれました。本賞の授賞式は、次回2012年にメキシコで開催される WAC2012 で行われます。

発表内容は、"Biometric Personal Identifica-

tion by Dynamics of Sole Pressure at Walking"と題し、歩行時の足底圧変化より個人認識を行う手法を提案したものです。同手法は、歩行時を対象とすることで、被個人認識者に対し、無意識なデータ計測、また動的データであるため他人による模倣が困難な利点を有します。これにより、ドア施錠などでの個人認証システムや、パーソナライズド・サービスなどへの応用が期待されます。

今後の武田君の今後益々の活躍を期待すると共に、これらの研究を支えて戴いた関係各位に感謝いたします。

(こばし しょうじ)

編集委員：委員長 山本 豊(環境)

委員 吉田 晴彦(工学) 浅見 敏彦(工学) 山本 厚之(工学)

赤浜 裕一(理学) 平野 克博(理学) 橋本 佳明(自然研)

編集・発行：HIT Spring NEWS 編集ワーキング・グループ

〒671-2280 兵庫県姫路市書写2167 兵庫県立大学姫路書写キャンパス内 ☎079-266-1661